

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：特別支援保育 英語表記：Special-Needs Childcare ナンバリング：2316		単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：布施 由起 担当形態：単独
科目/系列	/保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/障害児保育		
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b> 1. 障害児保育の理念や歴史的変遷を踏まえ、障害児及びその保育について理解できる。 2. 障害児や特別な配慮を要する子どもの援助方法や支援計画の作成について理解できる。 3. 障害児や特別な配慮を要する子どもの現状と課題を基に、家庭支援や専門機関等との連携について理解できる。			
<b>【授業の概要】</b> 障害児や特別な配慮を要する子どもの保育の考え方や特性に応じた支援の在り方について、疑似体験や討議活動等を通し理解を深め、実践力を身につける。個別の支援計画の作成や家庭支援の在り方、専門機関等との連携について、実践的な学びを重視し自ら考え支援できる力を身につける。			
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>			関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
<b>【思考・判断・表現】</b>			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
<b>【関心・意欲・態度】</b>			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
<b>【授業計画】</b> 第1回：障害児保育を支える理念と障害児保育の歴史的変遷 第2回：ICFに基づき障害児保育の事例について考える 第3回：乳幼児の障害特性について① 第4回：乳幼児の障害特性について② 第5回：発達障害児の理解と支援① (ASD) 第6回：発達障害児の理解と支援② (ADHD・LD) 第7回：言語障害・情緒障害児の理解と支援 第8回：障害種別に支援計画を考える① 第9回：肢体不自由児・知的障害児の理解と支援 第10回：視覚障害・聴覚障害児の理解と支援 第11回：重度心身障害児・医療的ケア児等の理解と支援 第12回：障害種別に支援計画を考える② 第13回：地域の専門機関や小学校等との連携の理解 第14回：保護者や家族の理解と支援 第15回：特別支援保育の現状と課題、今後の展望		<b>【授業時間外の学習】</b> 授業前後に、あわせて1時間程度の自己学習を要する。 ・授業前に教科書を読み、疑問点について調べておく。 ・授業後は教科書や配布したプリントをもとに、内容を整理し、まとめておく。 ・保育実習や教育実習において日常生活の中で気になった子ども達の様子を記録し、演習等に活かせるようにしておく。	

定期試験：筆記試験	
【授業の方法】 講義、グループでの演習やワーク。單元ごとの小レポートにフィードバックを行う。	
【テキスト】 『コンパス障害児の保育・教育』 武藤久枝 小川英彦編 建帛社	
【参考書・参考資料等】 適宜配布する。	
【学生に対する評価】 授業参画度 (20%)、小レポート (30%)、定期試験 (50%)、ルーブリックに基づいた評価を行う。	
【履修上の注意】 受講に当たっては教科書を参考に事前、事後の学習を行い、演習には積極的に取り組むこと。	
実務経験の有無：有	実務経験：元知的障害者支援施設勤務、臨床心理士・公認心理師
【実務経験を生かした教育内容】 施設職員の経験を活かし、障害のある子どものかかわり方において実践的な授業を行う。	